

令和5年4月17日

保護者 様 ・ 七生福祉園職員 様

東京都立七生特別支援学校長

黒澤 一慶

保健だより 4月第2号

腎臓・糖尿病検診(尿検査)について

本日(4月17日)、検査容器セットを配布しました。

◎4月18日(火)又は19日(水)に、検尿袋に学部、学年、クラス、氏名、年齢を記入のうえ連絡帳袋に入れて提出してください。採尿日以外の回収はできません。

※生理などの理由で今回提出できない場合は、2次検査日の5月15日(月)又は16日(火)に提出ください。容器は再度、5月12日(金)に配布します。

※今年度より検診担当機関が「あきる台病院」から「公益財団法人東京都結核予防会」に変わりました。

尿のとりかた

- 1 前日、寝る前に必ず排尿をする。
- 2 採尿日の朝は、起きてすぐ(洗面、着替え、食事等より前に)尿をとる。
尿は、出はじめと終わりをさけて、同封のカップにとる。
- 3 プラスチック容器のふたを外し、容器の中心部を指で強くつまみ、中の空気をできるだけ出してから容器をカップに入れ、容器に書かれた下の線を超えるように、尿を吸い上げる。
- 4 プラスチック容器のふたをしっかりと閉める。(こぼれると、検査ができません。)
- 5 プラスチック容器を提出用の紙袋に入れて、紙袋の入口を2回折り曲げる。
(のりづけやステープラーどめは、しない。)



※取り終えた検体は、検尿袋に学部、学年、クラス、氏名、年齢を記入のうえ連絡帳袋に入れて提出する。

腎臓のはたらきと尿検査

腎臓は、腰の少し上の辺りに左右ひとつずつあり、握りこぶしより少し大きい、そら豆の形をした臓器です。腎臓は血液をろ過して、体内で余分になった水分や塩分、老廃物を尿として排せつし、体の水分や血液中に溶けている多くの成分を一定に保ちます。また、造血や骨の代謝に必要なホルモンの生成なども行います。

尿検査では、尿に蛋白、赤血球、糖分が出ていないかを調べます。これらは体に必要なものなので、通常、尿に出てくることはありません。腎機能や糖代謝などに何らかの変調があるときに、尿から検出されます。腎臓病や糖尿病は自覚症状が少ないため、気が付かないうちに病気が進行してしまうことがありますが、定期的に尿検査を行うことで、これらの病気を早期発見することができます。

結果について

学校での健康診断はスクリーニング検査(所見があるかどうかを大まかに調べる検査)です。尿検査で所見があっても、直ちに疾病に結びつくものとは限りません。個人の体質による場合や、採尿日の体調等が影響した一過性の場合もあります。2次検査、3次検査を行うことで、体質や一過性のものか、疾病によるものなのかを調べます。

1次検査で所見がみられた方にのみ、5月上旬~中旬頃に2次検査のお知らせをお渡しします。2次検査対象となった場合は再度、検体をご提出ください。